



ろうきんのネットワークとセーフティネット



全国ろうきんの概要

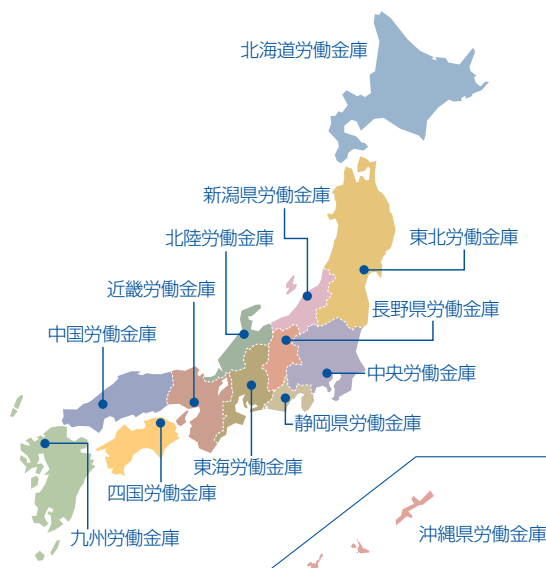
ろうきんは、一般社団法人 全国労働金庫協会(労金協会)と労働金庫連合会(労金連)を中央機関として、全国13金庫620店舗のネットワークを形成しています。

●全国ろうきん・沖縄ろうきんの概要 (2019年3月末)

項 目	全国ろうきん (13金庫)	沖縄ろうきん
店 舗 数	620店舗	12店舗
常 勤 役 職 員 数	11,285人	155人
団 体 会 員 数	51,381会員	423会員
間 接 構 成 員 数	11,310,317人	89,247人
出 資 金	954億円	9億円
預 金 残 高	20兆3,612億円	2,566億円
貸 出 金 残 高	13兆5,563億円	1,573億円
自 己 資 本 比 率	10.06%	11.41%

※預金残高には、譲渡性預金残高を含みます。

※店舗数には、バーチャル店舗を含みます。



ろうきん業態セーフティネット

お客さまの預金を守る公的なセーフティネットとして「預金保険制度」があります。ろうきんでは、この「預金保険制度」とは別に、ろうきん業態独自のセーフティネットを用意しています。

1 番目の柱は、労金協会および労金連による定期的な経営状況のモニタリングと労働金庫監査機構による監査です。経営上の問題が認められる場合には、その問題の程度に応じて必要な措置を講じ、問題の早期改善を図ることとしています。また、労働金庫監査機構は全国ろうきんの監査を実施し、指導を行っています。

2 番目の柱は、労金連の金融機能を活用した「ろうきん相互支援制度」です。万一、ろうきんに経営上の問題が生じ、支援が必要となった場合には、労金連が緊急資金の貸出しや資本注入、資金援助等を行うことにより経営をサポートします。

